

わくわく にほんご

1

ဝခဝခ
L L
ဂျပန်စာ



ဆရာကိုင်သင်ရိုးညွှန်းတမ်း

教案の使い方と授業の進め方

- 教案は授業の進め方と教科書の使い方を書いたものです。みなさんの学習者の状況に合わせて、適宜編集や修正をして使用してください。
- 教案に書かれている授業時間は目安です。各活動の時間は、学習者に合わせて修正をしてください。
- 各課には1つか2つの Can-do の目標があります。その Can-do ができることが授業の目標です。（特に学習者は）言葉や文法を全て覚える必要はありません。
- 教科書は基本的に最初から順番に進めるように作っています。先生が教えすぎないようにしましょう。教科書の初めに「活動の方法」とアイコンの説明があります。活動のヒントにしてください。
- 教師が知っておくべき文法について書いてありますが、それをそのまま学習者に教える必要はありません。まずは教師が理解しておいて、必要に応じて学習者に教えましょう。
- 音声は何回も聞かせましょう。
- 学習者同士で話す時間を大切にしましょう。
- 学習者が話したいことを話せるように、教師はサポートしましょう。
- 日本文化や日本語に関して、教師がすべて教える必要はありません。学習者が自分で調べることも大事です。インターネットや電子辞書などを活用しましょう。

アイコン	活動
	<p>クラスで話しましょう</p> <p>教科書に書かれている質問についてクラスで考えます。 授業を始める前のウォーミングアップとして活用します。</p>
	<p>聞きましょう</p> <p>会話や単語の音声を聞いて、内容を理解します。</p>
	<p>ことばの確認</p> <p>新しいことばの意味を確認します。 音声があるので音声で発音も確認しましょう。</p>
	<p>話しましょう</p> <p>学習した項目を使って、自分のことを話します。 教師や友だちと練習をしたり、発表したりします。</p>
	<p>書きましょう</p> <p>学習した項目を使って、自分のことを書く練習をします。</p>
	<p>考えましょう</p> <p>第3課以降に出てくる活動です。 トピックに関する質問について自分のことを思い出して話す活動です。</p>
	<p>Focus on Form</p> <p>日本語の仕組みを発見する活動です。 音声を聞いて空欄を埋めます。日本語の仕組みに気づけるようにします。</p>

第1課 わたし

Can-do 1: 先生や友だちに日本語であいさつができる。

授業時間: 30分

時間	学習活動	内容	教科書
分	トピック確認	<ul style="list-style-type: none"> 表紙のイラストを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 女の子が話しています。 何を話していると思いますか。 トピック「わたし」について学習することを確認します。 	
分	Can-do 確認	<ul style="list-style-type: none"> Can-do 1 「先生や友だちに日本語であいさつができる。」をクラスで確認します。 	
分	ウォーミングアップ	<p> クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを見ながら場面の確認（ミャンマー語を使って） <ul style="list-style-type: none"> 男の子と女の子がいます。みなと君とはなちゃんです。日本からミャンマーの学校に転校してきました。 推測 <ul style="list-style-type: none"> 2人は初めて学校に来ました。クラスメートにどんな挨拶をすると思いますか。 	
分	聞きましょう	<p> 聞きましょう (導入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞く前に P6-P7 のイラストを見て、分かることを話します。また、どんな「あいさつ」をするか推測します。 どんな「あいさつ」をしていますか。音声を聞きましょう。(🔊 1-1、1-2) <p>【音声 1-1】 おはようございます。おはよう。 こんにちは。こんばんは。</p> <p>【音声 1-2】 さようなら。またね。どうぞ。 ありがとうございます。ありがとう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語を見ながら、もう一度音声を聞きます。 単語の意味を確認します。 もう一度音声を聞いて、そのあと、リピートします。 (先生が発音してもいいです。音声を使ってもいいです。) 	 

<p>分</p>	<p>日本の文化</p>	<p>【日本の文化】おじぎ 今日の授業では「あいさつ」を学びました。日本では朝、昼、夕方であいさつが異なります。ミャンマーはどうですか？ あいさつは何ですか？ 「ありがとう」と「ありがとうございます」、 「おはよう」と「おはようございます」の違いはわかりますか？ 日本では、家族や友人に対するあいさつの仕方と、年上の人やよく知らない人に対するあいさつの法は異なりますし、それぞれに対する話し方も異なります。ミャンマーはどうですか？ また、日本ではあいさつの際にいわゆる「おじぎ」をすることが多いので、インターネットで「おじぎ」を検索してみてください。</p> <p>【日本の文化の内容について考える】 (質問例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内容を確認した後、自分の国のあいさつについて聞きます。どんなところが似ていますか。違いますか。 ● 朝の時間にあいさつが2つあることに気が付きましたか。それらの違いは何だと思えますか。イラストをヒントに考えましょう。 ● 「ありがとう」と「ありがとうございます」の違いは何でしょうか。あなたの国の言葉でも相手によって話し方が変わりますか。 <p>【「おじぎ」について調べましょう】 「おじぎ」という言葉をインターネットを使って検索しましょう。次の授業の最初に調べたことを発表します。</p>	
<p>分</p>	<p>話しまし う</p>	<p> 話しましう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (1)～(4)の問題をします。適切なあいさつを考えます。(必要に応じて単語を見てください) ● ペアの友だちと練習しましょう。 ● 何組か発表してもらいます。 	
<p>分</p>	<p>日本の文化</p>	<p>【授業でのあいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「起立」「気をつけ」「礼」「着席」の説明 日本の学校では、授業の始めと終わりに担任の生徒が指示を出し、全員でこのようにあいさつをします。 <p>★オンライン環境やビデオ教材 (YouTube など) が使える環境であれば、動画みせたり、写真を検索してクラスで見ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クラスで練習します。 	

Can-do 2: はじめて会った友だちに簡単に自己紹介ができる。

授業時間 : 60分 (目安)

時間	学習活動	内容	教科書
分	Can-do 確認	Can-do 2「はじめて会った友だちに簡単に自己紹介ができる。」をクラスで確認します。	
分	場面の確認	<ul style="list-style-type: none"> • みなと君とはなちゃんはクラスで自己紹介をしています。 • 自己紹介をするときに何を言いますか。(名前、学年など) 	
分	聞きましょう	<p> 聞きましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> • みなと君とはなちゃんの自己紹介を聞きましょう。 • 何と言っていますか。(🔊 1-3、1-4) <p>【音声 1-3】 こんにちは。 はじめまして。 みなとです。6ねんせいです。 よろしくおねがいします。</p> <p>【音声 1-4】 こんにちは。 はじめまして。 はなです。4ねんせいです。 よろしくおねがいします</p>	
分	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数字「1から10」まで確認します。(🔊 1-5) • 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 <p>【年生・歳の言い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学年について話すときは「年生」、年齢について話すときは「歳」を使うことを確認します。 • 例) 二年生・三年生・四年生* (四年生は特別な読み方で、よんねんせいにならないことを注意) • 年齢について話すときは「歳」を使うことを確認します。 	

		<ul style="list-style-type: none"> 例) 2歳 (にさい)、3歳 (さんさい)、10歳 (じゅっさい)、11歳 (じゅういっさい) 	
分	ことばの確認	 ことばの確認 <ul style="list-style-type: none"> 「はじめまして」「〇年生」「よろしくおねがいします」を確認します。(🔊 1-6) 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 <p>★「はじめまして」は、初めて会った人に使う言葉です。</p>	
		教師用メモ (文法チェック) <ul style="list-style-type: none"> 日本語の名詞文は「です」で終わります。 <p>例) <u>はな</u> です。(私は <u>はな</u> です) <u>9歳</u> です。</p>	
分	話しましょう	 話しましょう <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、会話を聞きます。(🔊 1-7) <p>【音声 1-7】 はじめまして。 カウンです。 5ねんせいです。よろしくおねがいします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認します。 会話を教師と一緒に練習します。 友だちとペアで練習します。 十分に練習ができれば、クラスで発表します。 	
分	日本の文化	<p>【日本の文化】名前の呼び方</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書に書いてある内容について確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 呼ぶとき、相手の名前の後に「さん」を付けて呼ぶ。 教室では、先生が生徒の名前に「さん」を付けて呼ぶ。 友だち同士では「さん」「君 (男の子)」「ちゃん (女の子)」を付けて呼ぶ。 先生を呼ぶときは、名前の後に「先生」を付けるか、そのまま「先生」と使うこともある。 自分の国と比較して、似ているところや違うところを比較する活動をいれてもいい。 	

分	教室の言葉	<p>【教室の言葉】出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声を聞いて、言葉を確認します。（🔊 1-8） <p>【音声 1-8】 キンさん、いますか？ はい、います。 カウンさん、いますか？ いいえ、いません。（いいえ、まだです。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認します。 ● 会話を教師と一緒に練習します。 	
分	Focus on Form 形式に注目	<p> Focus on Form</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声を聞いて、_____に聞こえた言葉を書きましょう。（🔊 1-9） <p>【音声 1-9】 キンさん、いますか？ はい、います。 カウンさん、いますか？ いいえ、いません。（いいえ、まだです。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒に答えを尋ね、文末の違いに注目させ、ルールを推測させます。（質問では文が「か」で終わる、肯定的な答えでは動詞が「ます」で終わる、「否定の場合、動詞は「ません」で終わります。） ● 文の構造と使い方に注目して、もう一度音声を聞きます。 	
		<p>教師用メモ（文法チェック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語では、質問文を作るとき、文末に「か」を使います。 例) カウンさん、います<u>か</u>。 ● 肯定文の場合は、「はい、動詞 (+)」で答えます。 例) はい、いま<u>す</u>。 ● 否定文の場合は、「いいえ、動詞 (-)」で答えます。 例) いいえ、いま<u>せん</u>。 ● <u>います</u> (+) → <u>いません</u> (-) 	

<p style="text-align: center;">分</p>	<p>教室の言葉</p>	<p>【教室の言葉】質問するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを見ながら、どんな場面か推測します。 <ul style="list-style-type: none"> 手を挙げて先生に質問している場面 音声を聞いて、言葉を確認します。（🔊 1-10） <p style="text-align: center;">【音声 1-10】 せんせい、すみません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認します。 会話を教師と一緒に練習します。 <p>【教室の言葉】遅刻のとき</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを見ながら、どんな場面か推測します。 <ul style="list-style-type: none"> 女の子が急いでいる様子 音声を聞いて、言葉を確認します。（🔊 1-11） <p style="text-align: center;">【音声 1-11】 すみません！</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認します。 会話を教師と一緒に練習します。 <p>【教室の言葉】部屋に入るとき</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを見ながら、どんな場面か推測します。 音声を聞いて、言葉を確認します。（🔊 1-12） <ul style="list-style-type: none"> 男の子がノックして、教室に入る前の様子 <p style="text-align: center;">【音声 1-12】 （ノック）しつれいします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認します。 会話を教師と一緒に練習します。 	
	<p>教室で使う言葉</p>	<p>【教室で使う言葉】P13</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考までに教室で使う言葉を載せています。 適宜、必要な言葉を導入して、教室でできるだけ日本語を使う環境にしましょう。（🔊 1-13） 	

分	Can-do チェック	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の授業の目標（Can-do）が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。 ● 時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。 	
分	確認！	<ul style="list-style-type: none"> ● 「確認！」は、学習したことの復習に使ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業が終わったすぐの確認や次の授業の始めの復習として活用できます。 	

第2課 にほんごのもじ

Can-do 3: ひらがな・カタカナを読むことができる。

授業時間:70分(目安)

時間	学習活動	内容	教科書
分	Can-do 確認	Can-do 3「ひらがな・カタカナを読むことができる。」をクラスで確認します。	
分	クラスで話しましょう	<p> クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語の文字には、ひらがな・カタカナ・漢字の3つの種類があり、ローマ字も使うことを説明します。 ラーメンのポスターをみて、どの文字が(ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字)に当てはまるか考えます。 ペアで相談したり、クラスで発表させるのもいいです。 	
分	クラスで話しましょう	<ul style="list-style-type: none"> クラスでラーメンのポスターの文字を確認します。 それぞれの文字は何か生徒に答えてもらいます。 ひらがな・カタカナ・漢字の違いに気づいたら、「祭り」のポスターを使って練習します。 ペアやグループで話し合いをして、クラスで発表します。 	
分	聞きましょう	<ul style="list-style-type: none"> Can-do 3を簡単に確認します。 ひらがな・カタカナを読むことができる。 <p>最初にひらがなを練習します。</p> <p> 聞きましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ひらがな」の音声を一通り聞きます。 (🔊 2-1 ~2-10) (🔊 2-11~2-13) (🔊 2-14~2-15) (🔊 2-16~2-22) (🔊 2-23~2-26) もう一度音声を流し、リピートします。 <p>★1回の授業で覚えることはできないので、暗記をする必要はありません。日本語には「ひらがな」があるということに気が</p>	 

		<p>つくことができたら OK です。量が多いので分けて指導してもいいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • まるごとプラスのサイトの QR コードがあるので紹介します。インターネット環境があればクラスで一緒に見てもいいですし、生徒が携帯を使ってアクセスしてもいいです。聞いてみましょう。 <p>※Web サイトは以下のコードから開くことができます。 https://a1.marugotoweb.jp/ja/hiragana.php</p>	
分	<p>読んでみよう</p>	<p>読んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> • イラストを確認します。 • ひらがな表を見ながら、「読んでみよう」に書かれている単語を まずは生徒だけで読みます。ペアで確認してもいいです。 • 音声を聞いて、音を確認します。 (🔊 2-27) <p>【音声 2-27】 すし・さかな・しんかんせん・せんせい・ともだち こんばんは・とうきょう・がっこう</p> <ul style="list-style-type: none"> • 言葉の意味を確認します。 • もう一度音声を流し、リピートします。 <p>注意：【表記の違い】 一部の単語の発音が表記と異なる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「せんせい」と書いて「Sensee」と読みます。 • 「がっこう」と書いて「Gakkoo」と読みます。 • 「がっこう」の「っ」はミャンマー語の何と同じでしょうか。 • 「とうきょう」の「きょ」はミャンマー語にありますか？ <p>★詳しい説明をする必要はないので、書く言葉と話す言葉の表記が違うことがあることに気がつけばいいです。 ★発音の表記は、話し言葉で統一しています。</p>	
分	<p>聞きましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Can-do3 を簡単に確認します。 ひらがな・カタカナを読むことができる。 <p>次は、カタカナを練習します。</p> <p> 聞きましょう</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> 「カタカナ」の音声を一通り聞きます。 (🔊 2-1 ~2-10) (🔊 2-11~2-13) (🔊 2-14~2-15) (🔊 2-16~2-22) (🔊 2-23~2-26) もう一度音声を流し、リピートします。 <p>★1回の授業で覚えることはできないので、暗記をする必要はありません。量が多いので分けて指導してもいいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> まるごとプラスのサイトのQRコードがあるので紹介します。インターネット環境があればクラスで一緒に見てもいいですし、生徒が携帯を使ってアクセスしてもいいです。聞いてみましょう。 <p>※Web サイトは以下のコードから開くことができます。 https://a1.marugotoweb.jp/ja/hiragana.php</p>	 
分	読んでみよう	<p>読んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを確認します。 カタカナ表を見ながら、「読んでみよう」に書かれている単語を まずは生徒だけで読みます。ペアで確認してもいいです。 音声を聞いて、音を確認します。(🔊 2-29) <p>【音声 2-29】 アイス・ケーキ・パン・ハンバーガー ラペットウ・ポテトチップス・ジュース・ライオン</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を確認します。 もう一度音声を流し、リピートします。 	
分	日本語の書き方	<p>日本語の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの手紙を見て、書き方に違いがあるか生徒に考えさせる。何人かに答えてもらってもいいです。 日本語には「横書き」と「縦書き」があることを説明する。 自分の国の言葉と比較して、似ているか、違うか考えます。何人かに発表させてもいいです。 手紙に書かれてある内容について確認します(自国の言葉で) 手紙の翻訳を見ながら、音声を聞きます。(🔊 2-30) 	

第2課 にほんごのもじ

Can-do 4: 自分や身にまわりの人の名前をカタカナで書くことができる。

授業時間:45分(目安)

時間	学習活動	内容	教科書
分	Can-do 確認	Can-do 4「自分や身にまわりの人の名前をカタカナで書くことができる。」をクラスで確認します。	
分	クラスで話 しましょう	<p> クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> みなと君の名前を見ましょう。このイラストからわかること・気づいたことはありますか。ヒントを伝えてもいいです。 ヒントの例) 日本語とミャンマー語では名刺の名前の書き方に違いはありますか？（日本人は最初に姓を言い、次に名前を言います。ミャンマー語では姓がない人もいます。） ペアで分かったこと・気づいたことを共有します。 クラスで何組か話し合ったことを発表します。 ひらがなのほかに、漢字・カタカナ・ローマ字でも名前を書くことができることを確認します。 	
分		<ul style="list-style-type: none"> カタカナで書かれた単語を見てください。 カタカナを使って、どんな言葉を書くことができますか。 ヒントを与えてもいいです。 ヒントの例) 言葉の由来を考えてみましょう。 <p>教師メモ カタカナ⇒名前や外来語を書くのに使われます。 日本由来の名前や言葉については、<u>漢字とひらがな</u>で表記します。</p>	
分		<p>いろいろな名前</p> <ul style="list-style-type: none"> カタカナで書かれたさまざまなミャンマー人の名前を読んでみましょう。 カタカナ表を使って、文字に使われているカタカナの文字を探してみましょう。 	

	<p>書きましょ う</p>	<p> 書きましょ</p> <ul style="list-style-type: none"> カタカナ表を使って、ノートに自分の名前をカタカナで書いてみましょう。 早く終わったら、友だちや家族、先生の名前を書いてみるように指示をしてください。 	
<p>分</p>	<p>Can-do チェック</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の目標（Can-do）が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。自己評価をします。 表を見ながらカタカナやひらがなで書かれた言葉を読むことができましたか。 自分の名前をカタカナで書くことができましたか。 <p>時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。</p>	
<p>分</p>	<p>確認！</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「確認！」は、学習したことの復習に使ってください。授業が終わったすぐの確認や次の授業の始めの復習として活用できます。 	
<p>分</p>	<p>日本の文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「日本語の文字」について書かれたコラムを読みます。 インターネット環境があれば、ビデオを見せたり、クラスで調べてもいいです。 また、宿題にして、次回のクラスで調べたことを発表してもいいです。 	

第3課 わたしのまち

Can-do 5: わたしの町について簡単に話すことができる。

学習時間：60分（目安）

時間	学習活動	内容	教科書
分	Can-do 確認	<ul style="list-style-type: none"> 今日のトピック「わたしのまち」と Can-do 5 を確認します。 	
分	<p>クラスで話しましょう</p> <p>考えましょう</p>	<p>🗨️🗨️ クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを使って場面の確認 質問を通して発話を促す（母国語で）。 <ul style="list-style-type: none"> イラストに誰がいますか。 ハナちゃんは何をしていますか。（携帯を見せて話しています。） どんな話をしていると思いますか。 <p>? 考えましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> みなさんはどうですか？住んでいる町で紹介したい場所や有名な場所がありますか。 今日は、私の町について日本語で紹介できるようになりましょう。 	
分	聞きましょう	<p>🔊 聞きましょう (導入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ここに地図があります。日本はどこですか。（赤い星がミャンマー・黄色い星が日本） これは日本の地図です。 写真が4枚あります。どこですか？ 聞きましょう (🔊 3-1) <p>【音声 3-1】 とうきょう・とうきょうです おおさか・おおさかです きょうと・きょうとです なは・なはです</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真をみましょう。それぞれの写真になにがありますか。 <p>次のオーディオを聞きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの町はどんな町ですか？聞きましょう。(🔊 3-2) <p>【音声 3-2】 とうきょうです。とうきょうは にぎやかです。 おおさかです。おおさかは おおきいです。 きょうとです。きょうとは ふるいです。 なはです。なはは きれいです。</p>	

教師用メモ

文法「Nは **Adjective** です」

形容詞を使って名詞の状態を説明する文法です。

- Tookyoo wa **ookii** desu
- Oosaka wa **nigiyaka** desu
- Shuedagon pagoda wa **yuumee** desu

もう一步！

日本語の形容詞は「い形容詞」と「な形容詞」があります。

• い形容詞

- Takai (Tall)
- Hikui (Low)
- Ookii (Big)
- Chiisai (Small)
- Atarashii (New)
- Furui (Old)

例をみましょう (I-Adjective + Noun)

- Takai **Biru** Tall bulding
- Hikui **Ki** Low Tree
- Ookii **Zoo** Big Elephant
- Atarashii **Machi** New City
- Furui **Apaato** Old Apartment

また、い形容詞は次のように活用をします。

	Non-Past	Past
Affirmative	I-Adj + desu	I-Adj + kattadesu
	Ookii desu	Ookikatta desu
	Chiisai desu	Chiisakatta desu
	Atarashii desu	Atarashikatta desu
	Furui desu	Furukatta desu
Negative	I-Adj + kunaidesu	I-Adj + kunakattadesu
	Ookikunai desu	Ookikunakatta desu
	Chiisakunai desu	Chiisakunakatta desu
	Atarashikunai desu	Atarashikunakatta desu
	Furukunai desu	Furukunakatta desu
	Takakunai desu	Takakunakatta desu

な形容詞：にぎやか (な) ・有名 (な) ・きれい*

*「きれい」は例外で“な形容詞

		<p>▪ な形容詞 (Na-Adjectives)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Nigiyaka (na) ○ Shizuka (na) ○ Yuumee (na) ○ Genki (na) ○ Kiree (na) <p>例をみましょう (Na-Adjective + Noun)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Nigiyakana Machi ○ Shizukana Yoru ○ Yuumeena Kashu ○ Genkina Sensee ○ Kireina Keshiki <p>な形容詞は次のように活用します。</p> <table border="1" data-bbox="475 851 1241 1500"> <thead> <tr> <th></th> <th>Non-Past</th> <th>Past</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">Affirmative</td> <td>Na-Adj + desu</td> <td>Na-Adj + deshita</td> </tr> <tr> <td>Nigiyaka desu</td> <td>Nigiyaka deshita</td> </tr> <tr> <td>Shizuka desu</td> <td>Shizuka deshita</td> </tr> <tr> <td>Yuumee desu</td> <td>Yuumee deshita</td> </tr> <tr> <td>Genki desu</td> <td>Genki deshita</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Negative</td> <td>Na-Adj + janai desu</td> <td>Na-Adj + janakattadesu</td> </tr> <tr> <td>Nigiyaka janai desu</td> <td>Nigiyaka janakatta desu</td> </tr> <tr> <td>Shizuka janai desu</td> <td>Shizuka janakatta desu</td> </tr> <tr> <td>Yuumee janai desu</td> <td>Yuumee janakatta desu</td> </tr> <tr> <td>Genki janai desu</td> <td>Genki janakatta desu</td> </tr> <tr> <td>Kiree janai desu*</td> <td>Kiree janakatta desu*</td> </tr> </tbody> </table>		Non-Past	Past	Affirmative	Na-Adj + desu	Na-Adj + deshita	Nigiyaka desu	Nigiyaka deshita	Shizuka desu	Shizuka deshita	Yuumee desu	Yuumee deshita	Genki desu	Genki deshita	Negative	Na-Adj + janai desu	Na-Adj + janakattadesu	Nigiyaka janai desu	Nigiyaka janakatta desu	Shizuka janai desu	Shizuka janakatta desu	Yuumee janai desu	Yuumee janakatta desu	Genki janai desu	Genki janakatta desu	Kiree janai desu*	Kiree janakatta desu*	
	Non-Past	Past																												
Affirmative	Na-Adj + desu	Na-Adj + deshita																												
	Nigiyaka desu	Nigiyaka deshita																												
	Shizuka desu	Shizuka deshita																												
	Yuumee desu	Yuumee deshita																												
	Genki desu	Genki deshita																												
Negative	Na-Adj + janai desu	Na-Adj + janakattadesu																												
	Nigiyaka janai desu	Nigiyaka janakatta desu																												
	Shizuka janai desu	Shizuka janakatta desu																												
	Yuumee janai desu	Yuumee janakatta desu																												
	Genki janai desu	Genki janakatta desu																												
Kiree janai desu*	Kiree janakatta desu*																													
分	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言葉を確認しましょう。 聞いた言葉を確認します。(🔊 3-3) <p>【音声 3-3】 きれい・ふるい・おおきい・にぎやか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● もう一度音声を聞いて確認しましょう。(🔊 3-3) 																												

	<p>書きましょ う</p>	<p> 書きましょ う 練習問題をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声を聞いてノートに答えを書きましょ。 (🔊 3-4) <p>【音声 3-4】 とうきょうは にぎやかです。 おおさかは おおきいです。 きょうとは ふるいです。 なはは きれいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声を聞かせる回数は適宜調整してください。 ● クラスで答え合わせをします。 	
<p>分</p>	<p>日本の文化</p>	<p>「にほんのまち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の首都について知っていますか。 ● 日本の首都は「東京」です。とても大きくて、にぎやかな町です。 ● 京都は古い伝統的な建物がたくさんあります。 ● なは（沖縄）は海がとてもきれいな町です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>★オンライン環境やビデオ教材（YouTube など）が使える環境であれば、日本の町の様子を動画を見せたり、写真を検索してみてください。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● ミャンマーはどうですか？ どんな町がありますか。 	
<p>分</p>	<p>聞きましょ う</p>	<p> 聞きましょ う (導入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● さっきは日本の町について勉強しました。 ● 次は、みなさんの町について紹介ましょ。 ● どんな言葉をさっき勉強しましたか。 (きれい・古い・にぎやか・おおきい) ● イラストをみましょ。キンちゃんが話しています。 <ul style="list-style-type: none"> ○ Aはどこだと思いますか。 ○ Bはどこだと思いますか。 ● 音声を2回聞きます。どんな町ですか。 (🔊 3-5) <p>【音声 3-5】 A ヤンゴンです。 ヤンゴンは にぎやかです。 シュエダゴンパゴダが あります。 シュエダゴンパゴダは ゆうめいです。</p>	

		<p>B ガパリです。 ガパリは しずかです。 うみが あります。 うみは きれいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体で何が聞こえたか確認する。 	
	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きます (🔊 3-6) <p>【音声 3-6】 にぎやか・ゆうめい・しずか・うみ・～があります</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認後、音声を聞いてリピートする。 	
分	Focus on Form 形式に注目	<p> Focus on Form</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、_____に聞こえた言葉を書きましょう。(🔊 3-7) キンちゃんはヤンゴンに何があると言っていましたか。 シュエダゴンパゴダはどうですか。(ゆうめいです) ガパリはどうですか。(海・きれい) 形式に注目してもう一度聞きましょう。 <p>【音声 3-7】</p> <p>A ヤンゴンです。 ヤンゴンは にぎやかです。 シュエダゴンパゴダが あります。 シュエダゴンパゴダは ゆうめいです。</p> <p>B ガパリです。 ガパリは しずかです。 うみが あります。 うみは きれいです。</p>	
分	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きます (🔊 3-8) <p>【音声 3-8】 シュエダゴンパゴダ・ゴールデンロック・インレーこ エーヤワディーがわ・モール・としょかん・やま</p>	

		<p>きれい・ちいさい・にぎやか・しずか・ふるい あたらしい・べんり・おもしろい・たかい</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 <p>★単語の数が多いので、会話に使う言葉を選んで練習してもいいです。</p>	
分	<p>話しまし ょう</p>	<p> 話しまし ょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、会話を聞きます。(🔊 3-9) <p>【音声 3-9】 ヤンゴンです。 ヤンゴンは にぎやかです。 シュエダゴンパゴダが あります。 シュエダゴンパゴダは ゆうめいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認します。 会話を教師と一緒に練習します。 友だちとペアで練習します。 (ことばを参考にさまざまなパターンで練習します) 十分に練習ができれば、クラスで発表します。 	
分	<p>Can-do チェック</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の目標 (Can-do) が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。自己評価をします。 わたしの町について簡単に話すことができましたか。 <p>時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。</p>	
分	<p>確認！</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「確認！」は、学習したことの復習に使ってください。授業が終わったすぐの確認や次の授業の始めの復習として活用できます。 	
		<ul style="list-style-type: none"> P33の「自由研究」は、宿題などで活用してください。 教科書で扱わなかった日本の町について調べて、行きたい町を選んで発表する内容になっています。 	

第4課 たべもの

Can-do 6: ミャンマーの食べものについて話すことができる。

授業時間:70分(目安)

時間	学習活動	内容	教科書
分	トピックとCan-doの確認	<ul style="list-style-type: none"> 表紙のイラストを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは何をしていますか。 今日のトピック「食べ物」とCan-do 6を確認します。 	
分	クラスで話しましょう	<p> クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストをみて、場面を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> はなちゃんは、何を食べていますか。 お弁当について知らなければ簡単に説明する。 イラストでは、「おにぎり」「たまご」が入っている。 	
分	考えましよう	<p> 考えましよう</p> <ul style="list-style-type: none"> お昼ごはんは普段何を食べていますか。 <ul style="list-style-type: none"> はなちゃんのお昼ごはんとなさんの国のお昼ごはんを比較してもいいでしょう。 似ているところ、違うところがありますか。 	
分	聞きましょう	<p> 聞きましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> はなちゃんの会話を聞きましょう。(🔊 4-1) <p>【音声 4-1】 はなちゃん、これはなんですか。 これですか？これは「おべんとう」です。 「おべんとう」？ はい、「おにぎり」と「たまご」があります。 おいしいです！</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話を聞いて、質問に答えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> Q1 はなちゃんは、何を食べていますか。 Q2 お弁当の中に何がありますか。 質問の答え合わせをします。 <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞かせて、答え合わせをする。 Q1 お弁当、 Q2 おにぎり・たまご 	

<p>分</p>	<p>ことばの確認</p>	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食べ物に関することばを確認します。 ● イラストを確認します。 ● 音声を聞いて、音を確認します。(🔊 4-2・🔊 4-3) <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 <p>【音声 4-2】 ごはん・パン・たまご・やさい・にく・さかな</p> <p>【音声 4-3】 あまい・からい・しおからい・すっぱい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 <p>★単語の数が多いので、会話に使う言葉を選んで練習してもいいです。</p>	
<p>分</p>	<p>Focus on Form 形式に注目</p>	<p> Focus on Form</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声を聞いて、_____に聞こえた言葉を書きましょう。(🔊 4-4) <ul style="list-style-type: none"> ○ みなと君は、はなちゃんに何と質問していましたか。 ○ はなちゃんは、何と答えていましたか。 ● 言葉を書いたら、近くの友だちと答えを確認します。 ● 音声を聞いて、答えを確認します。 ● 形式に注目してもう一度聞きましょう。 <p>【音声 4-4】 はなちゃん、これはなんですか。 これは「おべんとう」です。 「おにぎり」と「たまご」があります。</p>	
<p>分</p>	<p>お弁当の種類</p>	<p>お弁当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4つの種類のお弁当が書かれています。 ● 各お弁当の説明を読んで、(a-d)で好きなお弁当を選びます。どうしてそのお弁当を選んだのか理由をクラスで話しましょう。 	

		<p>★オンライン環境やビデオ（YouTube など）が見られる環境であれば、お弁当の動画をみせたり写真を検索してみてください。</p>	
分	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食べ物に関する4つの言葉を学習します。 ● イラストを確認してから、何を言っているか推測させてもいいでしょう。 ● 音声を聞いて、音を確認します。（🔊 4-5） <p>【音声 4-5】 いただきます ごちそうさま おいしそう たべたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ことばの意味を確認します。 ● 音声を聞いて、リピートします。 ● 「いただきます」や「ごちそうさま」など、食事の前後にこのようなあいさつをするかどうか、自分たちの国の慣習と比較してもいいでしょう。 	
分	クラスで話しましょう	<p> クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ここでの活動は、自分たちの国の食べ物について話せるようになることが目標です。 ● ミャンマーで、あまいもの、からいもの、しおからいもの、すっぱいものは何ですか。 ● クラスで話しましょう。 	
分	話しましょう	<p> 話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イラストをみて、キンちゃんは何をしているか確認します。 ● キンちゃんの会話を聞きます。（🔊 4-6） <p>【音声 4-6】 これは バラチャウンジョーです。 ミャンマーの りょうりです。 すこし からいです。おいしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認します。（教科書の下にある「ことばの確認」の欄から言葉を確認します） ● もう一度音声を聞きます。 	

		<ul style="list-style-type: none"> 音声に続いて、リピートします。 	
分	ことばの確認	 ことばの確認 <ul style="list-style-type: none"> 「話しましょう」で使う言葉を確認します。 音声を一度聞きます。（🔊 4-7） <p>【音声 4-7】</p> <p>おいしい あまい からい しおからい すっぱい すこし とても</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を確認します。 音声を聞いて、リピートします。 	
分	話しましょう	 話しましょう <ul style="list-style-type: none"> ミャンマーの食べ物「ラペットウ・モヒンガー・シャンカウスエ」を使って、目標会話を練習します。 それぞれの食べ物は、どんな食べ物か、味はどうか簡単に確認します。 3人1組になって会話を作ります。 会話ができたらクラスで発表します。（発表する人数などは適宜調整してください） 	
分	おにぎり	おにぎりの作り方 <ul style="list-style-type: none"> おにぎりの作り方について説明しています。 文化体験やイベントで活用してください。 	
分	日本の文化	<ul style="list-style-type: none"> 「給食」について書かれたコラムを読みます。 インターネット環境があれば、ビデオを見せたり、クラスで調べてもいいです。また、宿題にして、次回のクラスで調べたことを発表してもいいです。 <p>箸の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 箸の使い方について説明しています。 	

		<ul style="list-style-type: none"> イラストを見ながら練習しましょう。（箸を手に入れるのが難しいこともあると思います。その場合は、ペンで代用してください。） オンライン環境があれば、ビデオを見ながら練習してもいいです。 パスタや豆などを使ったゲームをすると盛り上がります。ぜひ、試してみてください。 	
分	Can-do チェック	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の目標（Can-do）が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。自己評価をします。 ミャンマーの食べものについて話すことができる。 <p>時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。</p>	
分	確認！	<ul style="list-style-type: none"> 「確認！」は、学習したことの復習に使ってください。 授業が終わったすぐの確認や次の授業の始めの復習として活用できます。 	

第5課 わたしのいちにち

Can-do 7: 自分の一日について話すことができる。

授業時間:70分(目安)

時間	学習活動	内容	教科書
分	トピックとCan-doの確認	<ul style="list-style-type: none"> 表紙のイラストを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは何をしていますか。 今日のトピック「わたしのいちにち」とCan-do 7を確認します。 	
分	考えましょ う	<p>? 考えましょ う</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックに関して自分たちのことを簡単に考えます。 <ul style="list-style-type: none"> みなさんは、今日何時におきましたか。 朝ごはんを食べましたか。 	
分	クラスで 話ましょ う	<p>🗨️ クラスで話ましょ う</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストを見て、分かることを話します。 イラストははなちゃんの朝の活動です。 	
分	聞きましょ う	<p>🔊 聞きましょ う</p> <ul style="list-style-type: none"> はなちゃんの会話を聞きましょ。 (音声🔊 5-1) <ul style="list-style-type: none"> まずは、音声を1回聞きます。 何が聞こえたか簡単に確認します。 <p>【音声 5-1】 あさ 6 じに おきます 7 じに あさごはんを たべます。 それから、7 じはんに がっこうに いきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話を聞いて、質問に答えましょ。 <ul style="list-style-type: none"> Q1 はなちゃんは何時に起きますか。 Q2 何時に朝ごはんを食べますか。 質問の答え合わせをする。 <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞かせて、答え合わせをします。 	

<p>分</p>	<p>ことばの確認</p>	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 時間に関することばを確認します。 ● イラストを見て、言葉の意味を推測します。 ● 音声を聞いて、音を確認します。(🔊 5-2・🔊 5-3・🔊 5-4) <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 <p>【音声 5-2】 あさ・ひる・よる</p> <p>【音声 5-3】 いちじ・にじ・さんじ・よじ・ごじ・ろくじ・しちじ はちじ・くじ・じゅうじ・じゅういちじ・じゅうにじ なんじですか。</p> <p>【音声 5-4】 ろくじ・ろくじはん</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 <p>【注目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時間は「〇時(じ)」を使うことを確認します。 ○ 4時・7時・9時の言い方に注意しましょう。 	
<p>分</p>	<p>ことばの確認</p>	<p> ことばの確認 (表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「1日」の活動に関することばを確認します。 ● イラストを見て、それぞれの言葉の意味を推測します。 ● 音声を聞いて、音を確認します。(🔊 5-5) <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 <p>【音声 5-5】 おきます。 あさごはんを たべます。 ひるごはんを たべます。 よるごはんを たべます。 がっこうに いきます。 いえに かえります。 べんきょうを します。 ゲームを します。 シャワーを あびます。 ねます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 	

分	書きましょ う	 書きましょ <ul style="list-style-type: none"> はなちゃんの1日について話されている音声を聞いて、ノートに書く活動です。(🔊 5-6) <p>【音声 5-6】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6じに おきます。 ② 7じに あさごはんを たべます。 ③ 7じはんに がっこうに いきます。 ④ 3じに いえに かえります。 ⑤ 4じに べんきょうします。 ⑥ 5じに よるごはんを たべます。 ⑦ 10じに ねます。 <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて答えが書けたら隣の人と答えをチェックするように指示を出します。 そのあと、音声を聞いて答えを確認します。 	
分	書きましょ う	 書きましょ <ul style="list-style-type: none"> 次に自分の1日についてノートに書きます。(この内容を参考に話す活動をします) 	
分	ノートに書 いてみよう	ノートに書いてみよう <ul style="list-style-type: none"> さて、皆さんはノートに表を作り、一日の過ごし方を日本語で書きます。活動時間や活動内容を書いていきます。残り時間は4分です。 教師は生徒の横を通り、生徒の書いた内容をチェックします。 	
		教師メモ <ul style="list-style-type: none"> 時間を話すときは、数字を言ってから「じ」と言います。 <ol style="list-style-type: none"> 1 いちじ 2 にじ 3 さんじ 4 よじ (よんじではありません) 5 ごじ 6 ろくじ 7 しちじ (ななじとも言えます) 8 はちじ 9 くじ (きゅうじではありません) 10 じゅうじ 11 じゅういちじ 12 じゅうにじ 	

		<p>「はん」という言葉は「半分」を意味し、「じ」の後に来ます。例) 7:30 なら 7 じはんと言います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の後には前置詞「に」を置き、次に動詞を置きます。 時間 + に + 動詞 例: 6 時に起きます。 目的語がある場合、文の構造は次のようになります。 時間 + に + 目的語 + を + 動詞 例: 7 時に朝ごはんを食べます。 質問の場合は、「なんじ」と文末に「か」で尋ねます。 なんじ + に + 動詞 + か 例: 何時に起きますか。 <p>注意 午前 8 時と言いたい場合は、「朝」を意味する「あさ」、次に数字の「8」、次に「じ」と言うことができます。午後（よる）の場合も同じように言うことができます。 例: あさ 8 じ (8AM)、よる 10 じ (10PM)</p>	
		<p>教師メモ</p> <p>日本語の動詞の形について説明します。</p> <p>日本語の動詞は、現在形と過去形に分けることができます。現在形の動詞は「ます」で終わります。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ねます」 (寝ます) 「たべます」 (食べます) 「いきます」 (行きます) <p>これらの動詞を過去形にするには、「す」を削除して「した」を追加します。これにより、動詞は過去の行動を示すようになります。</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ねます」 ➡ 「ねました」 (寝ました) 「たべます」 ➡ 「たべました」 (食べました) 「いきます」 ➡ 「いきました」 (行きました) 	

<p>分</p>	<p>聞きましょう</p>	<p> 聞きましょう (導入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> カウン君とはなちゃんの会話を聞きます。(🔊 5-7) 何と言っているか聞きましょう。 聞こえた言葉を確認します。 <p>【音声 5-7】 はなちゃん、なんじに おきますか。 6じに おきます。 なんじに あさごはんを たべますか。 7じに あさごはんを たべます。</p>	
<p>分</p>	<p>Focus on Form 形式に注目</p>	<p> Focus on Form</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、_____に聞こえた言葉を書きましょう。(🔊 5-8) <p>【音声 5-8】 なんじに おきますか。 6じに おきます。 なんじに あさごはんを たべますか。 7じに あさごはんを たべます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉を書いたら、近くの友だちと答えを確認します。 音声を聞いて、答えを確認します。 形式のルールを確認する(質問文: 教師メモ参照)。 形式に注目してもう一度聞きましょう。 	
		<p>教師メモ</p> <p>日本語の質問文の作り方について説明します。</p> <p>質問文は、基本的には文末に「か」をつけて作ります。 例) 何時に起きますか。 何時に朝ご飯を食べますか。</p>	
<p>分</p>	<p>話しましょう</p>	<p> 話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは、カウン君とはなちゃんの会話で練習をします。 音声を聞いて、リピートします。(🔊 5-9) <p>【音声 5-9】</p>	

		<p>なんじに おきますか。 6じに おきます。 なんじに あさごはんを たべますか。 7じに あさごはんを たべます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次に「書きましよう」で書いた自分の1日を使って、ペアもしくはグループで会話の練習をします。 ● まずは、教師が例を見せると進めやすいでしょう。 ● 会話ができたならクラスで発表します。 <p>(発表する人数などは適宜調整してください)</p>	
分	Can-do チェック	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の授業の目標 (Can-do) が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。自己評価をします。 ○ 自分の一日について話すことができる。 <p>時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。</p>	

第5課 わたしのいちにち

Can-do 8: 1週間にすることについて話すことができる。

授業時間:70分(目安)

時間	学習活動	内容	教科書
分	Can-do チェック	<ul style="list-style-type: none"> Can-do 8を確認します。 	
分	考えましょ う	<p>? 考えましょ</p> <ul style="list-style-type: none"> トピックについて自分のことを考えます。 <ul style="list-style-type: none"> みなさんは、どんな1週間を過ごしますか。 何をしますか。 	
分	クラスで話 しましょう	<p>🗣️ クラスで話しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> みなと君のスケジュールから1週間のスケジュールについて学習します。 みなと君が1週間にすることをイラストからわかることを話します。 音声を聞いて会話を確認します。(🔊 5-10) <p>【音声 5-10】 げつようび ともだちと あそびます。 すいようび まんがを よみます。 もくようび サッカーを します。 きんようび モールに いきます。 どようび なにも しません。</p>	
分	ことばの 確認	<p>📖 ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ここでは曜日を学習します。 音声を聞いて、音を確認します。(🔊 5-11) <p>【音声 5-11】 にちようび・げつようび・かようび・すいようび もくようび・きんようび・どようび</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を確認します。 もう一度音声を聞いてリピートします。 <p>★無理に暗記をしなくていいです。ゲーム要素のある単語ゲームなどを通して楽しみながら学習をするといいでしょう。</p>	

<p>分</p>	<p>ことばの 確認</p>	<p> ことばの確認（表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「さまざまな活動」に関することばを確認します。 イラストを見て、それぞれの言葉の意味を推測します。 音声を聞いて、音を確認します。（🔊 5-12） <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 <p>【音声 5-12】 サッカーを します。 テレビを みます。 まんがを よみます。 おんがくを ききます。 モールに いきます。 かいものを します。 かぞくと でかけます。 ともだちと あそびます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味を確認後、音声を聞いてリピートする。 	
<p>分</p>	<p>聞きましょう</p>	<p> 聞きましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> みなと君の1日の会話を聞きます。（🔊 5-13） <p>【音声 5-13】 にちようび なにを しますか。 にちようび おんがくを ききます。 げつようび なにを しますか。 げつようび ともだちと あそびます。 かようび なにを しますか。 かようび テレビを みます。 すいようび なにを しますか。 すいようび まんがを よみます。 もくようび なにを しますか。 もくようび サッカーを します。 きんようび なにを しますか。 きんようび モールに いきます。 どようび なにを しますか。 どようび なにも しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 何と言っているか聞きましょう。 聞こえた言葉を確認します。 	

<p>分</p>	<p>Focus on Form 形式に注目</p> <p>ことばの確認</p>	<p> Focus on Form</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、_____に聞こえた言葉を書きましょう。 (🔊 5-14) <p>【音声 5-14】 きんようび なにを しますか。モールに いきます。 もくようび なにを しますか。ともだちと サッカーを します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉を書いたら、近くの友だちと答えを確認する。 音声を聞いて、答えを確認する。 形式のルールを確認する（質問文：教師メモ参照）。 形式に注目してもう一度聞きましょう。 <p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 「何もしません」の意味の確認をする。(🔊 5-15) <p>【音声 5-15】 なにも しません。</p>	
<p>分</p>	<p>書きましょ う</p>	<p> 書きましょ う</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の1週間の活動についてノートに書きます。 (この内容を参考に話す活動をします) 	
<p>分</p>	<p>話しましょ う</p>	<p> 話しましょ う</p> <ul style="list-style-type: none"> まず、キンちゃんとみなと君の会話で練習をします。 音声を聞いて、リピートします。(🔊 5-16) <p>【音声 5-16】 すいようび なにを しますか。 まんがを よみます どようび なにを しますか。 なにも しません</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に教師と練習をします。 「書きましょ」で書いた内容を使って、ペアもしくはグループで会話の練習をします。 会話ができればクラスで発表します。 <p>(発表する人数などは適宜調整してください)</p>	

		<p>教師メモ</p> <p>教科書に出てくる助詞を確認します。</p> <p>を：動詞が行う対象を示します。 例：「まんがを読みます」 (I read a manga) 「音楽を聞きます」 (I listen to music.)</p> <p>に：方向や目的地、時間を示します。 例：「学校に行きます」 (I go to school) 例：「7時に起きます」 (I wake up at 7 o' clock)</p> <p>か：疑問文を作るときに文末につけます。 例：「朝ごはんを食べますか？」 (Do you eat breakfast?) 「日曜日何をしますか？」 (What do you do on Sunday?)</p> <p>と：一緒に行動する相手や、比較の対象を示します。 例：「友達と遊びます」 (I play with friends.) 「家族と出かけます」 (I go out with my family.)</p>	
分	Can-do チェック	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の目標 (Can-do) が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。自己評価をします。 1週間にすることについて話すことができる。 <p>時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。</p>	
分	確認！	<ul style="list-style-type: none"> 「確認！」は、学習したことの復習に使ってください。授業が終わったすぐの確認や次の授業の始めの復習として活用できます。 	
分	日本の文化	<p>日本の文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 典型的な「小学生の1日」について書かれた表を用意しました。このスケジュールを見て、自国の小学校のスケジュールと比較するとおもしろい発見があるかもしれません。 例えば、ミャンマーでは一般的に学校は9時から始まり、15:30に終わる。またお昼休みは12:00～12:30の30分しかない。また、一部の学校では授業が午前だけ、または午後だけの学校があります。このような日本とミャンマーの比較を通して新しい気づきを得られるような活動をしてください。 	

第6課 にほんのあそび

Can-do 9： 日本語で簡単な説明を聞きながら折り紙を作ることができる。

Can-do 10： 簡単な日本語を使ってすごろくで遊ぶことができる。

授業時間：70分（目安）

時間	学習活動	内容	教科書
分	表紙 Can-do チェック	<ul style="list-style-type: none"> ● 表紙のページをみて、トピックのテーマを考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ここでは「おりがみ」「すごろく」のイラストがある。 ○ 自分たちの国に似ている遊びがあるか比較してもいいです。 ● Can-do 9 と 10 を確認します。 	
分		<ul style="list-style-type: none"> ● 「おりがみ」の簡単な説明が書かれています。 ● 内容をクラスで確認したあとに、下にある写真をみるといいでしょう。 ● 「おりがみ」の写真は、「鶴」「手裏剣」「さまざまなおりがみ」を提示しています。このように、おりがみでいろいろな形のものを作ることができるということが分かるといいでしょう。 	
分		<ul style="list-style-type: none"> ● このトピックでは、「～ましょう」という文型を使ったフレーズが登場します。おりがみについて確認した後、この文型について簡単に紹介するといいでしょう。 	
		<p>教師メモ</p> <p>「～ましょう」は、一緒に何かをするの時（提案）に使われる文型です。</p> <p>例)</p> <p>食べます→食べます→食べましょう (Let's eat)</p> <p>行きます→行きます→行きましょう (Let's go)</p> <p>遊びます→遊びます→遊びましょう (Let's play)</p> <p>おりがみをおります→おります→おりがみを おりましょう (Let's make origami)</p>	
分	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● おりがみで使うことばを確認します。 ● ことばの意味を確認します。 ● 音声を聞いて、音を確認します。（🔊 6-1） <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 	

		<p>【音声 6-1】 おります もういちど おります はんぶん ひらきます きります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 	
分	おりがみ	<p>おりがみ (かぶと・カエル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際におりがみを折る活動をします。 ● 学校に折り紙がない場合は、新聞紙やコピー用紙で代用するなどしてください。 ● ビデオをみながら説明すると分かりやすいです。 ● YouTube 等で分かりやすいビデオを用意しましょう。 	
分	すごろく	<p>すごろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「すごろく」の簡単な説明が書かれています。 ● クラスで「ルール」を確認します。 	
分	ことばの確認	<p> ことばの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● おりがみで使うことばを確認します。 ● ことばの意味を確認します。 ● 音声を聞いて、音を確認します。 (🔊 6-2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 <p>【音声 6-2】 さいころをふりましょう。 すすみましょう。 やすみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 <p>(数字)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すごろくで使う数字を確認します。 ● 音声を聞いて、音を確認します。 (🔊 6-3) <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声を聞かせる回数は適宜調整します。 <p>【音声 6-3】 ひとつ・ふたつ・みっつ・よっつ・いつつ・むっつ</p>	

		<p>ななつ・やっつ・ここのつ・とお</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意味を確認後、音声を聞いてリピートします。 	
分	<p>すごろく</p>	<p>すごろく</p> <p>P60 - 61 を使ってすごろくをします。 ここでは、ミャンマーのシュエダゴンパゴダからスタートして、日本の富士山がゴールになっています。</p> <p>簡単にアイコンを紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Challenge は、これまで学習した内容から質問を出しています。ゲームを通して復習できる仕様になっています。思い出せない場合でも、該当のページに戻って確認するのもいいでしょう。 ● TRY は、言語面以外で楽しんでもらえるような設問を入れました。 ● 「～にいきましょう」は、同じイラストの箇所までスキップできるコマです。 	  
分	<p>Can-do チェック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の授業の目標（Can-do）が達成できたか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ Can-do を読んで☆星がいくつだったかクラスに聞きます。自己評価をします。 ○ 日本語で簡単な説明を聞きながら折り紙を作ることができる。 ○ 簡単な日本語を使ってすごろくで遊ぶことができる。 <p>時間があれば、「おもしろかったこと」「気づいたこと」「楽しかったこと」「もっと知りたいこと」などについて聞くのもいいです。</p>	

わくわく
にほんご
ဝခုဝခု ဂျပန်စာ



pdf file နဲ့ audio file များကို အထက်ပါ QR codeကို
scanဖတ်ပြီး အခမဲ့ ဒေါင်းလုတ်ရယူနိုင်ပါသည်